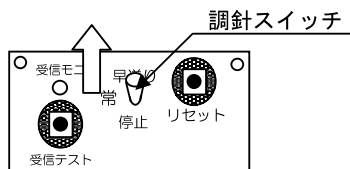
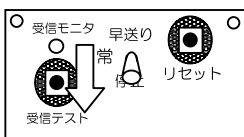


手動時刻合わせ

注意 電源投入後、全ての面の時計が12時で停止するまで手動調針はできません。

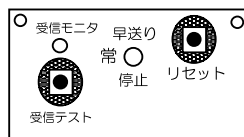


- ・調針スイッチを「早送り」側に倒し、現在時刻の少し先まで進めます。



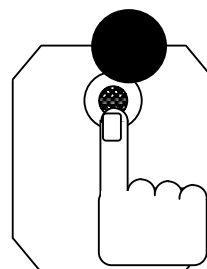
- ・調針スイッチを「停止」側に倒し、現在時刻に合うまで待ちます。

注意 分針は必ず分刻（0秒）の位置で止まります。



- ・電話の時報音等の00秒にあわせ、調針スイッチを「常」（スイッチの中間位置）に戻します。

制御部取扱時の注意



- ・時計の機体にある“針合わせ”つまみを回して時刻を合わせないで下さい。特に、針を反時計回りに回しますと故障の原因となります。